

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 160 (通算 453 回)

2010 年 3 月 29 日 (月)

法人経営の内部統制とリスク管理——

## 大学法人の監査環境整備と機能強化策Ⅲ

～監事・監査室・外部監査の共働・深化と報告書の進化～

- ※ 監査人一年生の歩みと戦い／監査報告とフォローアップの実質化／“支援”監査／3つの自由
- ※ 業務監査・戦略の策定・人財形成／監査権限とトップの責務／IACとIR～効用と限界
- ※ 公的研究費の管理・監査の実務／効率的な管理・監査とは／内部統制と行動規範の策定
- ※ 「儀式化」を脱却せよ／風土・組織の改革／監事監査の実際と現実／監事に問われる「品格」

### ● 講師陣 ●

- 中田 義三 氏 / (学) 明治大学 監査室 室長  
 清成 忠男 氏 / (学) 法政大学 学事顧問、元・総長・理事長  
 元・学校法人活性化・再生研究会会長 (私学事業団)  
 植草 茂樹 氏 / 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー・公認会計士  
 山森 利平 氏 / (国) 富山大学 監事 (常勤)、旧(国)富山医科薬科大学 監事 (常勤)  
 民間企業出身

2010 年 3 月 29 日 (月) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会  
高等教育情報センター

日 時 : 2010 年 3 月 29 日 (月) 9:40~16:50  
 会 場 : 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス : 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より  
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」  
 麹町口より徒歩 10 分  
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費 : A. ご一名 (資料代込)  
 42,000 円 (消費税込)  
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)  
 43,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名 <(株) 地域科学研究会 >  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。  
 申 込 先 : 地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel : 03 (3234) 1231 / Fax : 03 (3234) 4993  
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 160

2010 年 月 日

## 大学法人の監査環境整備と機能強化策Ⅲ

当日参加  メディア参加  
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [  請求書  見積書 ]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 ) 11:00	<p>□ <b>内部統制と監査業務の機能強化策</b>                      ～方針・計画／実施・改善／フォローアップの実質化～ (学) 明治大学 <b>中田 義三</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 紹介 (自己と明大)</li> <li>(2) 監査室長拝命、監査室の任務・所管 (分掌)</li> <li>(3) 本学監査室の歩み等</li> </ol> </li> <li>2. <b>内部監査人一年生の歩み</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 郷に入る前に「監査業務の実質化と機能強化策」</li> <li>(2) 三様監査・役割確認・課題の把握等</li> <li>(3) 定期内部監査計画と年間日程策定</li> </ol> </li> <li>3. <b>内部監査の“実戦”・実施</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 科研費等の競争的資金に係る監査</li> <li>(2) 事前提供依頼資料リストの作成</li> <li>(3) 検証作業の実施・監査調書の脱稿</li> </ol> </li> <li>4. <b>内部監査報告とアフターケア</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 重大な瑕疵 (?) の報告書、意見書</li> <li>(2) 監査報告書の作成</li> <li>(3) 改善事項等のアフターケア</li> </ol> </li> <li>5. <b>監事監査・会計監査・システム監査の現況等</b></li> <li>6. <b>終わりに</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 支援監査を目指して</li> <li>(2) 3つの自由</li> </ol>                     (質疑応答)                 </li> </ol>
11:10 ) 12:30	<p>□ <b>業務監査・戦略の策定・人財形成</b>                      ～監査結果の積極的活用～ (学) 法政大学 <b>清成 忠男</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>何のための監査か</b>                      ～大学の競争力を強化するため</li> <li>2. <b>監査室の設置</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 権限をもって部局横断的に調査</li> <li>(2) 調査結果の分析、問題点の抽出</li> <li>(3) 分析結果の活用、トップへ</li> </ol> </li> <li>3. <b>戦略の策定</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 監査結果を基礎に戦略策定</li> <li>(2) フィード・フォワード</li> <li>(3) 戦略策定で人財形成</li> </ol> </li> <li>4. <b>IACとIR</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) Internal Audit &amp; Consulting</li> <li>(2) Institutional Research、効用と限界</li> </ol>                     (質疑応答)                 </li> </ol>
13:30 ) 15:20	<p>□ <b>[研究資金] 公的研究費の管理・監査の実務と機能強化策</b>                      ～研究費の管理の有効性・効率性の向上～ 新日本有限責任監査法人 <b>植草 茂樹</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>研究費を巡る動向</b>                      ～研究費を巡る社会環境の変化</li> <li>2. <b>研究費の管理</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研究費管理・監査の実際と課題</li> <li>(2) 研究費を効率的に管理するためには</li> <li>(3) 研究費を効率的に監査するためには</li> </ol> </li> <li>3. <b>大学全体の内部統制の構築へ</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学の内部統制の考え方とその課題</li> <li>(2) コンプライアンスの実践 (行動規範の策定へ)</li> </ol>                     (質疑応答)                 </li> </ol>
15:30 ) 16:50	<p>□ <b>国立大学法人の内部統制と監事監査の機能強化策</b>                      ～監査の「儀式化」を脱して／監事はガバナンスのキーパーソンに～ (国) 富山大学 <b>山森 利平</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに <b>監査社会における検証・監査の「儀式化」</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国立大学法人監事を取り巻く環境</li> <li>(2) 大学と監事の考え方のギャップ</li> <li>(3) 大学改革を阻害するもの</li> </ol> </li> <li>2. <b>監事監査の業務効率化</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 風土・組織面の課題への対応</li> <li>(2) ITを通じた監査業務の効率化</li> </ol> </li> <li>3. <b>監事監査の実際と現実</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国立大学法人の内部統制と監事の役割</li> <li>(2) 方法と事例 (監査計画、連絡、実地監査、調書、フィードバック、監査意見)</li> <li>(3) 内部通報制度 (公益通報、研究不正通報)</li> <li>(4) 監査実施上の課題</li> </ol> </li> <li>4. <b>監事監査機能強化に向けて</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 制度改革と国立大学法人等監事協議会の対応</li> <li>(2) 監事の「品格」</li> </ol>                     (質疑応答)                 </li> </ol>